



第2回 環境に配慮した持続可能な 建設技術に関する国際会議

2nd International Conference on
Construction Resources for Environmentally
Sustainable Technologies

CREST 2023 | 2023年11月20-22日

福岡国際会議場

主催

九州大学

共催

英国ケンブリッジ大学
公益社団法人土木学会
公益社団法人地盤工学会

国際地盤工学会 技術委員会 No. 307 (TC307)
国際地盤工学会 アジア地域技術委員会 (AsRTC 1)
国際地盤工学会 アジア地域技術委員会 (AsRTC 3)
国際圧入学会 (IPA)
一般社団法人GLOSS研究会



後援

公益社団法人地盤工学会九州支部
一般社団法人日本建設業連合会
一般社団法人建設コンサルタンツ協会
一般社団法人全国地質調査業協会連合会



SDGsへの取り組み



概要

CREST 2023 (第2回環境に配慮した持続可能な建設技術に関する国際会議)は、自然災害や人為的活動に伴う災害について情報発信や意見交換を行い、ジオエンジニアリングの観点から、持続可能でレジリエントな社会を構築するために、代替資源や革新技術、ソフトタイプの災害軽減策を用いた解決策を提供することを目標としています。

第1回の国際シンポジウム(CREST 2020)は、新型コロナウイルスの感染拡大による困難の最中、数回の延期を経て2021年3月にオンライン方式で開催致しました。お陰様でCREST 2020は、産・官・学の皆様から圧倒的な支持と激励を受けて成功裏に開催することができました。これを機に国際会議として更に発展させるべく引き続きCREST 2023を開催することにいたしました。

新たな災害リスクを防止し、既存の災害リスクを軽減するための行動の優先順位を設定した「仙台防災枠組2015-2030」の決議にしたがい、CREST 2023のテーマは地盤工学のみならず幅広い学際的な分野をカバーしています。その中で特に重要なのは、効果的な災害対応のための予防措置を強化し、復旧・再建段階における「より良い復興体制の構築」を目指すことです。これを災害リスク軽減に組み込むことで、国や地方公共団体、地域のコミュニティは将来の災害に対して強靱な回復力を発揮することに繋がります。

また、現在、気候変動による自然災害の増加に直面し、世界各国は二酸化炭素排出量を削減するために、より厳しい環境政策を採用しています。このような社会背景のもと、持続可能で災害に強い社会の実現に向けて貢献することは、資源集約型の建設に携わる研究者、技術者、政策立案者の責務であると考えられます。

実行委員会 委員長

九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門 教授
ハザリカ ヘマンタ

問い合わせ先

CREST 2023 実行委員会
〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 W2-1124
九州大学 グローバル地盤災害環境研究グループ
E-mail: info@ic-crest.com
Website: www.ic-crest.com



急速に変化する世界において、これらを達成する方法として、スマートで革新的なデジタル技術（たとえばAI、BIM、CIM、DX、IoTなど）とともに、資源とその副産物を利用することが挙げられます。革新的な資源の最適化は、建設事業における環境負荷の低減に役立ち、デジタル技術は、設計・施工段階での非効率性を排除するだけでなく、耐用期間に亘ってシステム性能の継続的なモニタリングや、災害時の被害リスクの低減にも役立ちます。

達成目標

本会議は、世界各国の研究者、技術者、政策立案者が一堂に会し、地盤工学のみならず広範な学際的テーマについて議論をすることを目的としています。

CREST 2023では、持続可能な開発目標(SDGs) No.9、No.11、No.13、No.17に関して、気候変動への適応と災害への耐性に貢献することを目的として、インフラの政策立案、設計、施工、維持管理における新しいアイデアとイノベーションを促進します。

論文募集

CREST 2023実行委員会は、本会議のテーマに基づき、アブストラクトを募集しています。アブストラクトは、docxおよびpdf形式（400文字以内）で、オンライン投稿システムで提出してください。すべてのアブストラクトは、技術委員会によって査読され、採用された場合には、エクステンデッドアブストラクト（2ページまたは4ページ）とフルペーパー（8ページまたは10ページ）を提出していただきます。エクステンデッドアブストラクトはプロシーディングスに掲載され、フルペーパーはSpringer Nature社によるシリーズ出版物としてポストカンファレンスプロシーディングスに掲載される予定です。論文の投稿者は、フルペーパーが受理された後に会議に登録することができます。アブストラクト、エクステンデッドアブストラクト、フルペーパーの投稿要領とテンプレートは、本会議のウェブサイトからダウンロードしてください。また、若手研究者を対象に、優秀な論文や発表に対して表彰致します。また、推薦論文は、地盤工学をはじめ著名な学術雑誌の特集号に掲載される予定です。

スケジュール

アブストラクト投稿開始	2022年01月15日
アブストラクト提出期限	2022年03月31日
アブストラクト受理通知	2022年04月30日
エクステンデッドアブストラクトとフルペーパー投稿開始	2022年04月30日
エクステンデッドアブストラクトとフルペーパー提出期限	2022年09月30日
フルペーパー受理通知	2022年12月31日
フルペーパー最終提出期限	2023年01月31日
参加者登録開始	2023年02月01日

テーマ

部門1：地盤工学に関連した自然災害とレジリエンス

- ① 気候変動に起因した自然災害
- ② 気候変動に起因しない自然災害
- ③ 人為的活動に関連する災害
- ④ 災害リスクの評価とモデル化の経済的側面

部門2：地盤工学の観点から気候変動への適応策と技術革新

- ① 低炭素に向けた革新的技術
- ② 持続可能な設計・施工のための革新的な事例研究
- ③ 社会、経済及び環境に配慮した持続可能な施工技術
- ④ 地質学・水文学的な観点

部門3：異分野連携による地盤工学におけるサステナビリティ

- ① 情報（AI、IoT、VRなど）に基づいた自然災害軽減の方策
- ② DXやi-Constructionの応用
- ③ 災害の物理的・数値的なモデリングと災害軽減技術
- ④ スマートなエネルギー採取技術

部門4：地盤工学におけるリサイクル材・廃棄物の利用

- ① 低コスト・低炭素の建設技術
- ② 地盤構造物におけるリサイクル材料（代替地盤材料）の利活用
- ③ リサイクル材の力学的な性質及び構成則
- ④ 災害廃棄物の管理と再利用

部門5：レジリエントな社会の実現のための施策

- ① 地盤災害と環境
- ② ソフトタイプの災害軽減策によるコミュニティアウトリーチ
- ③ 持続可能な開発目標のための教育
- ④ Society 5.0の目標達成のための施策

参加費(円)

参加者カテゴリ	早期割引	一般
	2023年05月31日以前	2023年05月31日以後
一般	55,000	65,000
学生	35,000	45,000
国際会議 一日のみ	20,000	30,000
同伴者	20,000	30,000
論文追加投稿料	15,000	20,000
バンケット	10,000	10,000

参加費には、現場見学またはワークショップ、ウェルカムレセプション、プロシーディング、大会期間中のコーヒー、ランチ代が含まれます。